

## 「平成22年度全国学力・学習状況調査」結果の概要

### 1 調査の実施

#### (1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

#### (2) 調査日

平成22年4月20日(火)

#### (3) 実施状況 (公立学校数・児童生徒数) (数値は、調査日に実施した学校・児童生徒数)

学校種	調査対象校数	抽出調査対象校数(抽出率)	
		実施校数(実施率)	実施児童生徒数
小学校	413校 ・市町村立小学校: 410校 ・特別支援学校小学部: 3校	121校 (29.3%)	5,521人
		121校 (29.3%)	
中学校	167校 ・市町村立・県立中学校: 163校 ・特別支援学校中学部: 4校	95校 (56.9%)	9,455人
		94校 (56.3%)	
総計	580校 ・市町村立・県立中学校: 573校 ・特別支援学校: 7校	216校 (37.2%)	14,976人
		215校 (37.1%)	

※抽出率=抽出調査対象校数/調査対象校数×100、実施率=実施校数/調査対象校数×100

### 2 岡山県の学力調査の状況 (公立学校)

#### (1) 95%の確率で、悉皆調査の場合の平均正答率が含まれる範囲

小学校	国語		算数	
	A	B	A	B
県(%)	83.0~84.5	76.6~78.4	71.8~73.7	48.2~50.1
国(%)	83.2~83.5	77.7~78.0	74.0~74.4	49.1~49.5

中学校	国語		数学	
	A	B	A	B
県(%)	74.1~75.3	62.8~64.4	63.1~64.8	40.7~42.9
国(%)	75.0~75.2	65.1~65.5	64.4~64.8	43.1~43.5

※Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題

#### (2) 正答数分布の特徴

- 正答数の分布は、昨年度と同様に、全国の状況とよく似ている。
- 小学校では、国語Aで上位層がやや多く、算数Aでは、昨年度と同様に上位層がやや少なくなっている。
- 中学校では、国語Bで上位層がやや少なく、数学Bでは下位層がやや多くなっている。

### 3 調査結果の概要（公立学校）

#### （1）学力調査の設問ごとの解答状況から見える特徴

- 基礎的・基本的な知識・技能を問う問題のうち、漢字の読みや式の計算の正答率が高いが、国語での文の構成の理解や、算数・数学での2つの数量関係の整理などの定着には課題が見られる。
- 資料や情報に基づいて自分の考えを明確に記述したり、日常的な事象について筋道立てて考えたり、判断する根拠を説明したりすることに課題がある。
- 無解答率は、小学校においては、全体的に全国平均より低くなっており、昨年度より改善が見られる。中学校においては、多くの設問において全国平均より高くなっている。

#### ①平均正答率が高い主な設問

\*「平均正答率」の欄の上段は県、下段は全国

小学校国語		平均正答率
A	[1一(1)]漢字を読む。(新しいクラスに慣れる)	97.7
		96.2
	[1一(3)]漢字を読む。(いつも清潔なハンカチを持つ)	97.2
		96.5
B	[1ア]学校新聞に対する二つの意見の共通点を書く。	94.0
		93.7
	[1イ]学校新聞に対する二つの意見の相違点を書く。	90.1
		89.5

小学校算数		平均正答率
A	[1(3)] $912 \div 4$ を計算する。	88.9
		89.6
	[6]立方体の展開図をかく場面で、5つの面が示されたとき、残りの1つの面をかく場所を選ぶ。	86.9
		88.3
B	[3(1)]3つの円グラフを見て、けがが最も多く起こった場所を書く。	96.6
		95.9
	[5(1)]定価1000円の図に対して、定価の30%引き後の値段を表している図を選ぶ。	68.3
		69.0

中学校国語		平均正答率
A	[10二3]漢字を読む。(調べたことから結論を導く)	96.2
		96.3
	[10二2]漢字を読む。(衝撃を受ける)	94.8
		94.8
B	[3一B]前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択する。	88.5
		89.2
	[3一A]前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択する。	85.7
		85.3

中学校数学		平均正答率
A	[2(1)] $b \times 5 \times a$ を、文字を用いた式の表し方にしがって書く。	90.3
		90.8
	[2(3)] $X = 3$ のときの式 $12 \div X$ の値を求める。	89.9
		90.3
B	[1(1)]身体活動量を求める式を用いて、自転車に30分間乗ったときの身体活動量を求める。	71.2
		72.7
	[5(1)]パイプの構造を図形としてとらえ、パイプの端点をつないでできる図形の名前を書く。	56.8
		57.8

②平均正答率が低い主な設問（無解答率も併記）

\*上段は県、下段は全国

小 学 校 国 語		平均正答率	無解答率
A	[4]メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く。	60.6	1.8
		60.3	2.0
	[3]物語の登場人物の関係をとらえて書く。	65.0	1.8
		65.0	1.8

小 学 校 算 数		平均正答率	無解答率
B	[6(2)]バスのドアが動く様子を表した図を見て、円周の一部と直線の長さの大小についての正しい記述を選び、判断のわけを書く。	13.7	8.7
		14.6	9.2
	[5(2)]割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く。	17.8	4.3
		17.1	4.5

中 学 校 国 語		平均正答率	無解答率
B	[3二]本文中の表現がたとえている内容をとらえて書く。	34.4	21.8
		35.5	18.7
A	[4二]一文を二文に分けて書く。	41.3	7.0
		41.4	5.7

中 学 校 数 学		平均正答率	無解答率
B	[5(2)]平行四辺形になることを証明するための根拠となる事柄を書く。	9.2	48.1
		9.4	45.1
A	[11(3)]16cmの長さのひもで作る長方形の縦の長さと横の長さの関係を式で表す。	21.2	31.4
		22.9	28.2

③上記以外で無解答率が高い設問

\*上段は県、下段は全国

小 学 校 算 数		無解答率
B	[4]平行四辺形から台形に図形を変えて、示された2つの三角形の面積が等しいことの説明を書く。	20.0
		22.0
	[1(2)]おつりを正しく求められるように式に( )を書き加える。	12.9
		12.1
	[2(1)]本立ての部品の図を見て、どのような長方形かを書く。	12.9
		13.6

中 学 校 数 学		無解答率
B	[6(1)]L字型の厚紙を引き出すとき、その長さと面積の関係を表すグラフの特徴を説明する。	51.1
		48.3
	[2(2)]連続する3つの奇数の和が3の倍数になることを証明する。	33.6
		29.1

## (2) 児童生徒質問紙調査から見える特徴

- 小・中学校とも、昨年度と同様に、自尊感情にかかわる項目は、概ね全国に比べて肯定的な回答が多い。
- 小学校においては、学習に対する関心・意欲が高くなっているが、言語活動にかかわる項目について、昨年度と同様に課題が見られる。
- 中学校においては、学習習慣にかかわる項目に課題が見られる。

### ①全国平均より高い回答率を示した主な項目

小 学 校	県	全国	差	中 学 校	県	全国	差
読書は好きだ。	77.5	73.0	4.5	自分には、よいところがあると思う。	66.4	63.1	3.3
自分には、よいところがあると思う。	78.7	74.4	4.3	普段の授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。	76.0	73.3	2.7
普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。	84.4	81.5	2.9	「総合的な学習の時間」の勉強は好きだ。	66.7	64.5	2.2
難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。	76.4	74.2	2.2	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。	66.2	64.1	2.1
算数のわけや求め方を書く問題を最後まで解く。	64.1	62.0	2.1	学校で好きな授業がある。	82.3	80.3	2.0

### ②全国平均より低い回答率を示した主な項目

小 学 校	県	全国	差	中 学 校	県	全国	差
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思わない。	28.4	31.3	-2.9	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をする。	56.2	66.2	-10.0
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。	51.3	54.1	-2.8	家で学校の授業の復習をしている。	34.4	43.5	-9.1
自分の考えを人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいとは思わない。	31.7	33.9	-2.2	家で苦手な教科の勉強をしている。	37.7	43.8	-6.1
長い文章を読むのは難しいと思わない。	59.5	61.1	-1.6	家で、テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している。	34.6	39.7	-5.1
新聞やテレビのニュースなどに関心がある。	65.7	66.9	-1.2	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。	39.2	42.3	-3.1

### (3) 学校質問紙調査から見える特徴

- 平成21年度全国調査の問題や結果の活用にかかわる項目は、概ね全国に比べて肯定的な回答が多い。
- 習熟の程度に応じた指導にかかわる項目については改善が見られ、また、授業でのICT活用や校内研修の充実が進んでいる傾向が見られる。
- 小学校におけるキャリア教育や補足的な学習サポートに課題が見られる。
- 中学校においては、指導方法の工夫に課題が見られる。

#### ①全国平均より高い回答率を示した主な項目

小 学 校	県	全国	差	中 学 校	県	全国	差
平成21年度全国調査の調査問題を平成22年度において、第6学年や他学年の授業の中で活用した。	84.3	61.3	23.0	平成21年度全国調査の自校の結果について、保護者や地域の人に対して公表や説明を行った。	87.3	71.3	16.0
平成21年度全国調査の自校の結果について、保護者や地域の人に対して公表や説明を行った。	93.4	74.6	18.8	国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与える。	100	88.8	11.2
国語の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしている。	46.3	35.1	11.2	放課後を利用した補足的な学習サポートを実施している。	94.8	85.6	9.2
算数の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしている。	40.5	29.7	10.8	長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施している。	89.3	80.3	9.0
平成21年度全国調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく学校全体で活用した。	92.6	85.0	7.6	学校でテーマを決め講師を招聘するなどの校内研修を行っている。	90.3	82.4	7.9

#### ②全国平均より低い回答率を示した主な項目

小 学 校	県	全国	差	中 学 校	県	全国	差
放課後を利用した補足的な学習サポートを実施している。	30.8	62.1	-31.3	校長が、校内の授業を週に2～3日以上見て回っている。	53.2	68.9	-15.7
長期休業期間を利用した補足的な学習サポートを実施している。	43.8	58.6	-14.8	生徒は礼儀正しいと思う。	75.7	87.0	-11.3
児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしている。	56.1	70.6	-14.5	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加している。	47.9	57.3	-9.4
国語の指導として、補足的な学習の指導を行った。	56.2	69.6	-13.4	数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行っている。	42.5	51.6	-9.1
職場見学や職場体験活動を行っている。	25.7	37.7	-12.0	国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行っている。	69.2	76.5	-7.3

## 4 今年度の県の取組

### (1) 岡山県学力向上アクションプラン

#### ①学力向上検討委員会

- 小学校から高等学校までを見通した学力向上の取組の方向性について協議する。
- 岡山県学力向上アクションプランを検証・改善する。

#### ②授業改革支援事業

- 授業改革協力員の指定（国、社、算・数、理、英で150名）
- 学力向上実践校の指定（15中学校区）
- 授業展開等の好例を集めた素材集（データベース）の作成
- 指導主事の継続的な派遣
- 「教科指導の匠」の派遣（退職教員11名をのべ300回派遣）
- 学校力向上支援スタッフの派遣（退職校長5名をのべ90校派遣）
- 学習到達度確認テスト（算数・数学単元別テスト及び読解力テスト）の作成・データ処理システムの活用

#### ③岡山県学力・学習状況調査事業

- 調査問題の作成
- 調査の概要
  - ・H23.4.14（木）に実施
  - ・公立中学校第1学年のすべての生徒を対象
  - ・学力調査（国・社・算・理）と質問紙調査（生活習慣・学習方法等）

### (2) 全国学力・学習状況調査結果の活用（学校・市町村教育委員会に対する支援）

- 希望利用校対象の集計支援ツールの配付

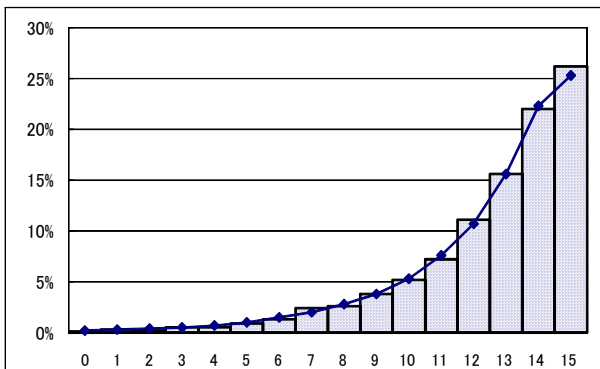
### (3) 今後の取組

- 授業改革に向けた校内研修の支援等の一層の充実
- 学力向上検討委員会における「提言」及び「確かな学びをつくる10のメッセージ」に基づく具体的・効果的な学力向上の取組の提案
- ポスターセッション・フォーラムの実施
  - ・H22.12.27（月）に開催
  - ・学力向上実践校（中学校区）によるポスターセッション、有識者による対談

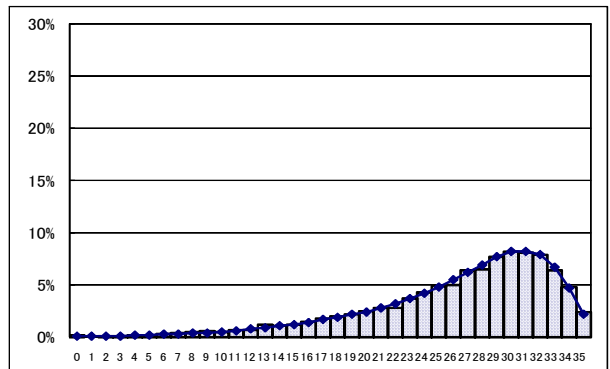
正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）

※折れ線グラフ：全国 棒グラフ：岡山県

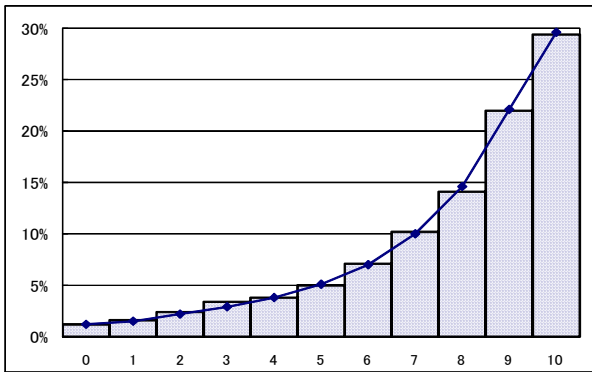
小学校 国語A



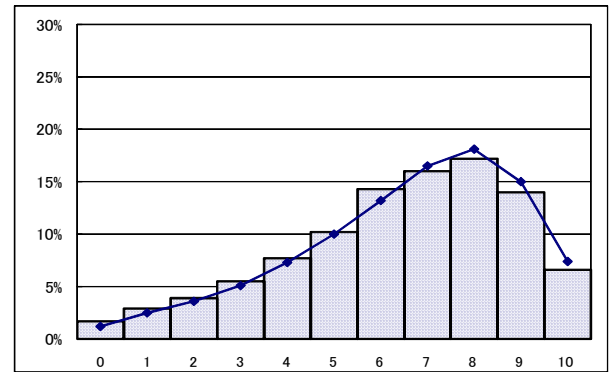
中学校 国語A



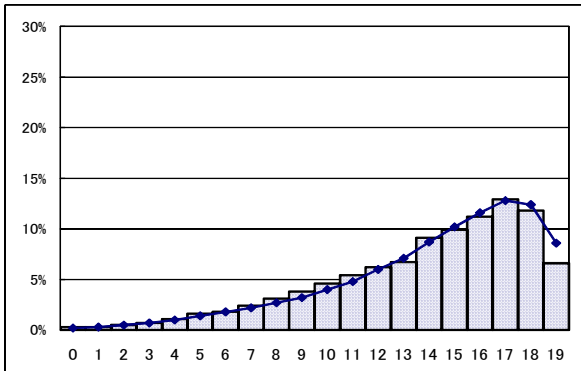
小学校 国語B



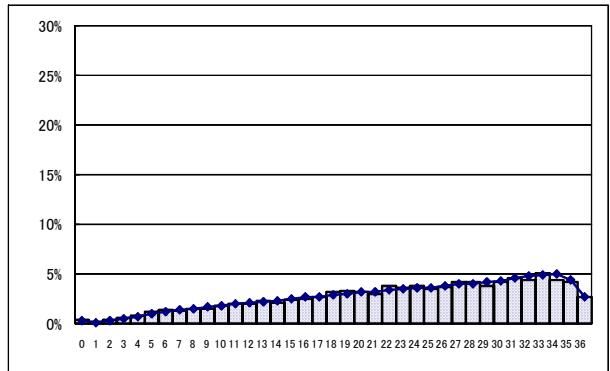
中学校 国語B



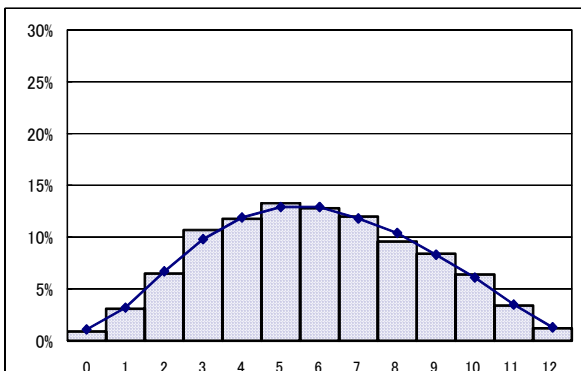
小学校 算数A



中学校 数学A



小学校 算数B



中学校 数学B

